倫理審査委員会議事摘録(2024-11)

【日時】 2024年11月18日(月) 午後5時00分~午後6時10分

【場所】 病院本館(東棟) 2階 病院会議室 4

【出欠者】

◎委員長 ○副委員長

	氏名	性別	区分	出欠確認		選出区分
0	神田 芳郎	男	学内	会場	0	1
	西 昭徳	男	学内	会場	0	1
0	三好 寛明	男	学内	会場	0	1
	吉田 史章	男	学内	会場	0	1
	川山 智隆	男	学内	TV 会議	0	1
	淡河 恵津世	女	学内	TV 会議	0	1
	渡邊 順子	女	学内	TV 会議	0	1
	益守 かづき	女	学内		×	1
	室谷健太	男	学内	会場	0	1
	吉井 千穂	女	学内		×	1
	甲斐 久史	男	学内		×	1
	西原 慎治	男	学内	会場	0	2
	石川 真人	男	学内			
	朝見 行弘	男	学外	会場	0	2
	北村 哲	男	学外	TV 会議	0	2
	古賀 清	男	学外	会場	0	3
	衛本 みどり	女	学外	会場	0	3
	出席:〇 欠席:×					
	第1号委員:8名 第2号委員:3名 第3号委員:2名					
	男性:10 名 女性:3 名					

【陪 席】医に関する倫理委員会事務局/臨床研究センター 金子、内藤、中山、原田

委員長より、本日の会議は人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針第8章倫理委員会 第17 2「構成及び会議の成立要件」の全てを満たして会議が開始された。

【審査案件】

1)			
研究番号	23228		
申請区分	18121 の継続申請		
単独/多機関	多機関共同研究(学内一括審査) 代表機関	関:久留米 共同研究機関:1	
研究課題名	類天疱瘡患者および後天性表皮水疱症患者の水疱内溶液中と唾液中の抗 BP180 自己		
	抗体、抗 BP230 自己抗体および抗 7 型コラ	ーゲン自己抗体の検出に関する研究	
研究責任者	石井 文人		
説明者	石井 文人	出席形態 対面	
概要説明	研究の概要について説明		
質疑応答	委員	説明者	
	第3号委員:	第1号委員:	
	内溶液にするようになっていたが、内容液	病理では内容液とする。	
	という表記もあり、どちらが正しいのか。	説明者:	
	第1号委員:	内容液で統一する。	
	水疱内/溶液なのか、水疱内容/液なのか。		
	第3号委員: 特に通常診療に影響しないが		
	Step 1 で収集した検体データを活用し、	こは少し検討が必要。	
	Step2 をすすめるということなのか。説明		
	文書 5 頁③iv)「研究参加を中止する時」に		
	ついて、通常診療で加療が行える中身なの		
	か。		
	第1号委員:	はい。	
	これからの診療はないのか。		
	第 1 号委員:	いない。	
	前向きか後ろ向きかということで、今から		
	緊急に加わる方で Step 1 からスタートす		
	る方はいるのか。		
	第1号委員:	はい。	
	基本的に Step1 で同意を取っている方に行		
	うのか。		
	第1号委員:	はい。	
	同意が取れる方には同意を取る。		
	第1号委員:	はい。	
	•		

1	·	,	
	前向きというよりは、後ろ向き。患者さん	前向きはないということで、修正する。	
	のリクルートが終わっているのであれば、		
	後ろ向きでいいのではないか。新たに患者		
	さんを見つけて被験者に加えることがな		
	い理解でよいならば後ろ向き。今でも病院		
	にかかられている方に同意を取るという		
	ことであれば後ろ向きだけでいかれてよ		
	L',		
	第1号委員:	第1号委員:	
	同意がとれない人は出てこないのか。	取れない場合はオプトアウトで実施さ	
		れ同意にかえる。	
審議内容	リクルートを新たに行わないのであれば後ろ向きのデザインとなるため、同意を撤回		
	する場合などにおいて通常診療の記載を削除するなど、デザインに沿って文章を整備		
	していただく。誤記を修正していただく。そのうえで簡易な継続審査としてよろしい		
	か。		
審査結果	再審査(簡易な継続審査)		

•				
研究番号	24197			
申請区分	新規			
単独/多機関	多機関共同研究(学内一括審査) 代表機関	関:久留米	共同研究機関:4	
研究課題名	機械学習を用いたデジタル画像による骨格飼	伤量の推定		
研究責任者	松瀬 博夫			
説明者	長野 友彦(研究分担者)	出席形態	対面	
概要説明	研究の概要について説明			
質疑応答	委員	説明者		
	第3号委員:		募集する機関で測定し、データを久留米	
	研究計画書 10 頁、募集するところと測定		大学に集める。	
	する場所は一緒なのか。それぞれの大学で			
	行うのか。			
	第3号委員:	はい。		
指導学生や同僚は原則被験者にしないと				
あるが、ポスター掲示場所にスタッフルー				
	ムや大学の掲示板となっており、一般的な			
	方を対象としているように感じにくい。も			

っと多くの方々の目に留まる場所に掲示 した方がいいのではないか。 第3号委員: 共同研究機関でデータを取るのではな 個人情報の安全管理も共同研究機関の管 く、ポスターを掲示したところでデータ 理規定にも準じて行うようにすべきでは を収集する。データ管理も久留米大学で ないのか。 行うので久留米大学の規定に準じて行 うようにしている。 データは匿名化して扱いたい。写真も全 第1号委員: データのやり取りがあるのであれば各施 体が映ることはない。 設でも管理すべき。匿名化するのは無理な のではないのか。 承知した。 第1号委員: データと名前が紐づけられないので匿名 検討する。 化したら、同意撤回ができなくなる。仮名 加工でないとできない。共同研究機関でも 個人情報の管理が必要。 第 3 号委員: 研究責任者: 手術による侵襲、ストレスが低栄養に繋 飢餓や侵襲などとはどういう状況なのか。 がり、筋肉量に影響する。加齢も別問題 である。この研究では食事を食べたくて も食べれられない病態の人を指してい る。 第 3 号委員: 研究責任者: 目標症例 100 名と記述があるか 80 名とい 100 例集めてきて、20%くらいは適合せ う数字も出てくるがどういうことなのか。 ず80例を利用できるとしている。 説明者: 目標症例は100例。 第1号委員: はい。分かりやすくする。 1年で80例集めることができ、期間が1 年 10 か月くらいあることからトータルで 100 例集めることができるということなの か。 第1号委員: 研究責任者: サルコペニアの記述があるが、実際若い人 今回は再現性の確認であり、サルコペニ が集まり、サルコペニアの年齢層ではない アの診断が目的ではない。今回は年齢や のではないか。あくまでも機械学習の精度│病態での違いは検討項目に入っていな

	がみれればよいとうことなのか。	い。
	第1号委員:	はい。
	募集場所がリハビリスタッフルームなど	
	限定的で同僚を被験者としないというの	
	と矛盾が生じるので、広く大学の掲示板に	
	するのがよい。ポスターだけで募集し、直	
	接声をかけることはないということでよ	
	いか。また「なお、募集には直接関わらな	
	いこと」に「研究者は」という主語が抜け	
	ていて分かりにくいので文言を入れるよ	
	うに。	
審議内容	共同研究機関に九州栄養福祉大学も加えてい	いただく。 指導学生や研究者などが関わら
	ないよう募集を行うためのポスターなどはも	色々な場所に掲示し、広く募るようにして
	いただく。誤記を修正していただく。そのう	えでの簡易な継続審査としてよろしいか。
審査結果	再審査(簡易な継続審査)	

研究番号	24205		
申請区分	新規		
単独/多機関	単独研究		
研究課題名	肝細胞癌の腫瘍免疫微小環境の解析		
研究責任者	秋葉 純		
説明者	秋葉 純	出席形態	対面
概要説明	研究の概要について説明		_
質疑応答	委員	説明者	
	第3号委員:	3 例で十分で	ない場合もある。その場合
	3例である程度のデータが取れるのか。	は症例数増や	すことも検討する。 空間プ
		ロファイリン	グにもっていく前に、でき
		るかぎり特徴	的な病理組織を抽出した
		症例を解析す	ることで何らかの普遍的
		なマーカーを	得られると期待している。
	第3号委員:	検体は送るが	、情報は送らない。
	山口大学へは情報の授受はないのか。		
	第3号委員:	修正する。	
	試料の授受があるので、研究計画書 5 頁②		

	-1 の資料の授受のチェックが必要ではな		
	いか。		
		│ │個人の名前や年齢などの情報は残らな	
	データは山口大学に残るのか。	いが検体のデータは残る。	
	第3号委員:	ゲノム遺伝子情報の発現はみるが遺伝	
	説明文書 7 頁の 13. i) について、結果を	子配列はみない。遺伝学的検査の結果の	
	説明しないのが原則であればそれと齟齬	開示に対し、どのような対応を取ればい	
	のあるその後の文章は不要ではないか。ま	いか教えて欲しい。 	
	た同意書にはゲノム情報のことも記載さ		
	れている。結果の開示をするのかしないの 		
	か。		
	第3号委員:	承知した。	
	体細胞変異は原則ゲノム情報には含まれ	そのように修正する。	
	ない。発現解析で量的なものを見るだけで		
	あればゲノムからは外れる。		
	第1号委員:	はい。	
	結果を説明しないならば、遺伝学的検査結		
	果の開示についてのところは不要になる。		
	第1号委員:	有料である。	
	山口大学には有料の解析になるのか。		
審議内容	第1号委員:		
	 業務委託であって、共同研究ではない。本学	やと山口大学での試料の授受があり、記載	
	- が必要。遺伝子解析は開示しない、検査結集	は説明しない、という内容で修正してい	
	ただく。誤記を修正していただく。		
	第3号委員:		
	研究計画書 2 頁、業務委託機関に山口大学が	が必要、記載していただく。	
	第1号委員:		
	- そのうえでの簡易な継続審査としてよろし↓	いか。	
審査結果	再審査(簡易な継続審査)		

研究番号	24213
申請区分	新規
単独/多機関	多機関共同研究(学内一括審査)
研究課題名	九州地域における肝癌発生状況の実態調査
研究責任者	中野・聖士

説明者	中野 聖士	出席形態	対面
概要説明	研究の概要について説明		
質疑応答	委員	説明者	
	第3号委員:	通し32~33	頁に、別紙【研究分担施設・
	研究計画書 16 頁【1】、共同研究機関名等	研究責任者】	を添付しており内容を記載
	が空欄である。	している。別	紙参照と修正する。
	第3号委員:	修正する。	
	何か所か誤記や行のずれがある。		
審議内容	現在は倫理審査が必要になった内容の案件。個人情報も姓と病院と発症時の年齢程		
	度。誤記を修正していただく。そのうえでの簡易な継続審査としてよろしいか。		
審査結果	再審査(簡易な継続審査)		

3)				
研究番号	24216			
申請区分	新規			
単独/多機関	単独研究			
研究課題名	更年期症状を有する周閉経期ならびに閉経	後女性における	睡眠関連呼吸障害 (SRBD;	
	sleep-related breathing disorders) の拾い上	げ指標のための	探索的臨床研究	
研究責任者	木下 隆			
説明者	木下 隆	出席形態	対面	
概要説明	研究の概要について説明			
質疑応答	委員	説明者		
		帝人から機器	を無料投与していただく。	
	当初産学官に相談し、共同研究と言れ			
	ていたが、現在委託機関に変わってい			
	. .			
	第3号委員:	エプワースは昼間の眠気であり夜の眠		
	アンケートの内容は似た内容だが、3 つ必	気とは異なる	、アテネは眠気ではなく不	
	要なのか。	眠。症状や疾患が違い、みているものが異なる。65歳以下に統一する。		
	第3号委員:			
	研究計画書と説明文書で対象者の記載が			
	65 歳未満と 65 歳以下と異なっている。	る。		
	説明文書7頁、結果の説明方針について、	そのように記	載していたが、全員に検査	
	「ご希望について選択してください」とあ	結果をお知ら	せし睡眠の障害があれば	

	フ バロ立書 L の数人をよい	*
	るが同意書との整合性がない。	次に紹介するので、書き方を修正する。
	第 2 号委員: 	基本的には 1 回。装着時間が短かったな
	研究計画書 6 頁、PSG の検査は何回するの	どで患者さんが 2 回されることもある。
	か。	保険適応の検査でも 2 回されてくる方
		がおられ、その時は両方確認する。基本
		は1日夜1回。
	第1号委員:	一般的に更年期は 40 歳前後 10 歳。女
	年齢はどうしてこの年齢に設定したのか。	性医学では 65 歳以下が多いので、この
		設定にした。
	第1号委員:	更年期症状の診断では女性ホルモンの
	30 代ならば精神疾患、60 代ならば脳梗塞	エストロゲンやプロゲステロンを調べ
	など混じっているかと思うが大丈夫なの	るが、それが正常であってもその前から
	か。閉経前後ならば±5歳くらいの印象。	症状が出る方が結構多い。卵巣を取られ
		る方も閉経症状が出る方がいるのでそ
		れも踏まえてということになる。
	第1号委員:	呼吸器でも女性の更年期の患者さんが
	患者さんの募集はどうするのか。	いるが、不眠を訴える人が多くいる。更
		年期アンケートの中には必ず不眠の項
		目があり、一般診療でも取られているの
		で、ピックアップはしやすい。
	第1号委員:	資金を頂くことは一切ない。
	委託になったが、研究費が入ってくること	
	はないのか。	
	第1号委員:	全くない。
	│ │無料で提供されるこの医療機器がとても	
	│ │ いいという宣伝がでるようなことはない	
	のか。	
審議内容	事務局	
	┃ ┃委託になった際に産学官と会議を行い確認る	を取っている。
	 第 1 号委員:	
	 共同研究から委託に変わる部分、年齢や同意	: 意書の結果開示などを修正していただく。
	│ │全員への結果を説明し、必要な受診を促すな	など、明文化していただく。
	 別紙を参考に誤記を修正していただく。 その) ううえでの簡易な継続審査としてよろしい
	か。	
審査結果	再審査(簡易な継続審査)	

【不適合審査】 9件

研究課題名	内容	結果
原発性免疫不全症遺伝子診断に関する	変更申請もれ	不適合
研究		小迴口
EGFR 遺伝子変異陽性進行非扁平上皮	研究責任者の申請誤り	
非小細胞肺癌に 対するゲフィチニブ		
またはオシメルチニブ単剤療法 とゲ		
フィチニブまたはオシメルチニブにシ		不適合
スプラチ ン+ペメトレキセドを途中		
挿入する治療とのランダ ム化比較試		
験		
切除不能肝細胞癌患者に対する	変更申請もれ	
Atezolizumab+Bevacizumab 併用療法の		不適合
多施設共同前 向き観察研究		
間質性肺疾患合併多発性筋炎/皮膚筋	大学病院内のインシデントに起因し	
炎患者を対象 とした肺病変の進行を	た、研究計画 書からの逸脱	不適合
規定するバイオマーカー探索 研究		
新たなソックスエイドの商品開発	研究計画書からの逸脱	不適合
ミリ波ばく露時の温熱生理機能に関す	UMIN の登録遅延	不適合
る研究		小迴口
埋め込み型中心静脈ポートの画像ガイ	変更申請もれ	不適合
ド下留置術に おける前向き観察研究		小迴口
日本産科婦人科内視鏡学会における手	倫理委員会への付議がなされないま	
術および合併 症登録	ま、研究へ参 加していた件の続報。過	重大な不適合
	去の登録症例数を報告する。	
「日本産科婦人科学会 臨床倫理監査	倫理委員会への付議がなされないま	
委員会 登録:調査小委員会生殖補助	ま、研究へ参 加していた件の続報。過	
医療(ART)登録事業お よび登録情報	去の登録症例数を報告する。なお、病	不適合
に基づく研究	院管理課へ記載事項証明は提出され	
	ていた。	

【承認案件】

 ① 一般審査結果:8件

 審査結果
 承認、未承認は審査中

 ② (新規) 迅速審査結果:14件

 審査結果
 承認、未承認は審査中

 ③ (変更)審査結果:12件

 審査結果
 承認

【報告事項】

① (新規) 学外一括審査報告:8件

②(変更)学外一括審査報告:13件

③ (新規) 他機関における研究への試料・情報提供に関する報告:0件

④ (変更) 他機関における研究への試料・情報提供に関する報告:0件

⑤ (新規) 研究協力機関に関する報告:0件

⑥ (変更) 研究協力機関に関する報告:0件

⑦ (学内)経過・中止・終了・その他報告:12件

⑧ (学外) 経過・中止・終了・その他報告:6件

9 有害事象報告:0件

【その他】

- ・研究番号 23021 (整形 松垣先生) 代表機関の変更について
- ·研究番号 22245 (外科 石橋先生) 学生 (RMCP の可能性) の研究参加について